

試合番号 : 111	試合会場 : 東京体育館	観客数 : 4,012	
開始時間 : 14:08	終了時間 : 15:35	試合時間 : 01:27	
主審 : 村中 伸	副審 : 新田 浩幸		
東京グレートベアーズ	通算 0勝 3敗 ポイント : 0	ウルフドッグス名古屋	通算 2勝 1敗 ポイント : 6
監督コメント 今日は結果的には非常に悔しいゲームとなりましたが、このような素晴らしい環境の中で試合をさせていただけたこと、感謝しております。明日の試合ではファンの皆様喜んでいただけるようアグレッシブにプレイしていきます。本日もありがとうございました。	0	14 第1セット 25 16 第2セット 25 19 第3セット 25 第4セット 第5セット	3
監督コメント 東京グレートベアーズの関係者の皆様、初のホームゲーム開催おめでとうございます。歴史的瞬間をともにできて、とても光栄に思います。本日の試合はたくさんの方の東京GBファンの応援で相手にもいいプレーがあり、苦しめられる場面もありましたが、そのような状況においてもそれを乗り越えられたことを誇りに思います。明日も同じ会場で試合がありますので、これからの時間を使ってよい準備をしていきます。今シーズンの初アウェーゲームに駆けつけて頂いたファンの皆様、本当にありがとうございます。また、メディアやインターネットを通して応援して頂いた世界中のウルフドッグス名古屋のファンの皆様、明日も好ゲームが繰り広げられるように頑張りますので、共に闘いましょう！			
要約レポート ウルフドッグス名古屋と、記念すべき新生東京グレートベアーズのホームゲーム開幕戦。第1セット、WD名古屋はスタートから傳田、主のブロック、高梨、クレクのアタックで連続得点をあげて、大差でセットを先取する。第2セット、WD名古屋は第1セット同様山崎、高梨のアタックで得点をあげる。東京GBは柳町をスタートから起用すると、期待に応え柳町はアタックで得点を量産する。WD名古屋はリベロ小川の安定したレシーブから得点をかせぎ、最後は高梨のブロックでセットを連取する。第3セット、東京GBは柳町のアタック、小田嶋のブロックで得点するも、連続得点することができず、点差がつけられないまま中盤を迎える。そこでWD名古屋は山田をリリーフサーバーで起用すると、豪快なサービスエースを決め、一歩抜け出す。東京GBは小田嶋、笠利のアタックで追いつけるが、点差をつめることができず、WD名古屋がストレートで勝利した。			

試合番号 : 112	試合会場 : 小瀬スポーツ公園体育館	観客数 : 650	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:56	試合時間 : 01:56	
主審 : 浅井 唯由	副審 : 小松 剛		
VC長野トライデンツ	通算 1勝 2敗 ポイント : 3	サントリーサンバーズ	通算 1勝 2敗 ポイント : 3
監督コメント 今シーズン初のホームゲームという中、試合スタートから固さがみられ、自分たちでリズムを作ることができず、また、サーブで崩されブロックにかかるといって悪い流れになってしまった。2セット目から相手の強いサーブに耐え、交代選手もしっかり役割を全うし、最後までしっかり戦い抜いてくれた。本日の勝利に甘んじることなく、明日の試合もしっかりと戦ってきたい。本日の勝利に甘んじることなく、明日の試合もしっかりと戦ってきたい。本日の勝利に甘んじることなく、明日の試合もしっかりと戦ってきたい。本日の勝利に甘んじることなく、明日の試合もしっかりと戦ってきたい。	3	16 第1セット 25 26 第2セット 24 28 第3セット 26 25 第4セット 16 第5セット	1
監督コメント 本日もサンバーズへの声援ありがとうございます。VC長野の粘り強さに我慢できず、淡白なゲーム展開にしてしまったことが敗因だと思います。セット終盤の競った展開を取り切れない点が大きな課題です。昨シーズンとはメンバーも変わっており、まだ今シーズンのサンバーズの姿が固まってない点も今日の試合に影響していると思います。また明日試合がありますので、メンタルの切り替えが非常に重要になります。現在の自分たちの課題を一つ一つクリアしていきながら成長へつなげていきたいです。選手たちは苦しい試合展開の中でも諦めず戦ってくれました。その気持ちに応えるためにも明日に向けて良い準備をしていきたいです。準備いただいた皆様、ファンの皆様、ありがとうございました。明日のサンバーズに注目してください！			
要約レポート 初勝利を目指すVC長野トライデンツが、サントリーサンバーズをホームに迎えての一戦。第1セット中盤、サントリー柏田のサービスエースを皮切りに藤中(謙)のバックアタック、小野のブロック等で6連続得点をあげ、VC長野を突き放す。その後、VC長野ドニの打点高いスパイク等で追いつけるが、流れは変わらず。サントリーがセットを先取した。第2セット、お互いに1点を取り合う展開から終盤、VC長野アラウジョのスパイクや波佐間のクイックが要所で決まり、VC長野がセットを取り返すと、第3セットも同様の展開から、最後はドニ、アラウジョがスパイクを決め、第2セットに続き、VC長野が制した。第4セット、VC長野の勢いは止まらず、序盤からサーブが効果的に決まり、サントリーのミスも重なり、12-3とサントリーを突き放す。その後、お互いにラリーを繰り返すが、VC長野・備を中心に粘り強いレシーブから最後は三輪のブロックが見事に決まり、VC長野がホームで今シーズン初勝利を収めた。			

試合番号 : 113	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 1,250	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:18	試合時間 : 02:18	
主審 : 原 啓之	副審 : 沢田 元		
東レアローズ	通算 2勝 1敗 ポイント : 5	パナソニックパンサーズ	通算 2勝 1敗 ポイント : 7
監督コメント 今シーズン初めてのホームゲームで勝利出来たことはとてもうれしく思います。経験豊富な選手が多いパナソニックに前半は苦しめられましたが途中出場の西本、酒井がしっかりと仕事をしてくれたのがチームにとって大きかったと思います。明日も今日のように厳しい戦いになると思いますが、しっかり準備をしたいと思っています。本日は、たくさんの方の応援ありがとうございました。	3	19 第1セット 25 25 第2セット 22 21 第3セット 25 25 第4セット 20 15 第5セット 11	2
監督コメント あと少しのところまで取れていたのが悔しいです。戦術的に非常に面白い試合だったと思います。最後に東レのスパイクとサーブが機能していました。あと少しブッシュするだけなので、明日のためにしっかり準備して挑みます。			
要約レポート 第1セット、東レはバダル、小澤、上條、パナソニックはクビアク、清水の攻撃で一進一退の攻防。中盤パナソニックに試合の流れが傾いていくが、東レは小澤、富田、バダルのスパイクで応戦するも、パナソニックは清水の活躍によりセットを先取する。第2セット、序盤から互いに譲らぬ展開。中盤以降、東レは小澤のサービスエースや、西本のブロックで攻め立て、パナソニックも山内、クビアクのスパイクで反撃するも、最後は東レ小澤がスパイクを決め奪取する。第3セット、東レは西本、小澤が躍動すると呼べるかのように富田やバダルのブロックやスパイクが決まる。一方のパナソニックはセッター深津のサーブから流れを取り返し、仲本や渡辺のサービスエースで差を広げると、パナソニックがこのセットを奪い返した。第4セットは、富田のブロックやバダル、上條、小澤のスパイクで東レがリードする展開で試合が進む。パナソニックは途中交代の新しいサービスエースや山内のスパイクで応戦するも、東レ小澤が強烈なスパイクを叩き込み、フルセットに持ち込んだ。ファイナルセットは、パナソニック・リベロ伊賀、セッター深津の気迫のレシーブ、東レも酒井、リベロ山口の華麗な守備で会場のファンを魅了する。両者譲らぬ白熱の試合は、小澤のサーブで流れを掴んだ東レがホームゲーム初戦を勝利で飾った。			

試合番号 : 114	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 2,562	
開始時間 : 13:03	終了時間 : 14:42	試合時間 : 01:39	
主審 : 戸川 太輔	副審 : 岡田 崇		
ジェイテクトSTINGS	通算 1勝 2敗 ポイント : 3	堺ブレイザーズ	通算 3勝 0敗 ポイント : 9
監督コメント 堺ブレイザーズさんの素晴らしいプレーを讃えたいと思います。自分たちのプレーができてサイドアウトの面では苦戦しました。本日も多くのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお祈りします。	0	24 第1セット 26 17 第2セット 25 22 第3セット 25 第4セット 第5セット	3
監督コメント 先週の試合から更にチームとして修正を重ね、万全の準備をして試合に臨みました。結果として、ストレートで勝利することができ、チームとして最高の形で明日に繋げることができました。明日は更に厳しい戦いになると思いますが、対策を更に万全にし、勝利を掴めるように全力で戦います。遠方まで応援に来てくれたサポーターの皆様感謝しています。明日も熱い応援、よろしくお祈りします。			
要約レポート 先週にウルフドッグス名古屋との愛知ダービーで1勝1敗としたジェイテクトSTINGSと、開幕2連勝し率先の良いスタートを切った堺ブレイザーズの対戦は、連勝の勢いに乗って堺がストレートで勝利した。第1セット、堺は序盤からバーノンのスパイクとブロック、高野のブロックで得点を重ね攻撃のリズムを掴んでリードする展開となる。中盤ジェイテクトがウルナウトのブロックポイントなどで追いつくと競った展開のままデュースとなる。24-24から堺が出田のアタックとブロックで連続得点しセットを先取した。第2セット、このセットも堺が序盤から松本とバーノンのブロックでジェイテクトの攻撃を止めリードする展開となった。中盤、堺は高野とバーノンのスパイクでポイントを重ねさらに点差を広げる。ジェイテクトは途中から西田に代わって入った都築が6点のスパイクポイントや、陳のブロックなどで3連続得点し反撃するが及ばず、堺がセットを連取した。第3セット、ジェイテクトは陳と村山が連攻を決め、村山とウルナウトのブロックで得点し先行する展開となった。堺が徐々に点差を詰め中盤に出田と迫田による連続得点で追いつく。ジェイテクトはウルナウトと都築がスパイクを決め再び2点リードとするが堺がバーノンのスパイク、高野のブロックポイントで逆転し2点差をつけるとジェイテクトの反撃を抑えこのセットも取り勝利した。			

試合番号 : 115		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 900		
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:34		試合時間 : 01:34		主審 : 林 淳一		
副審 : 平田 敬基		通算		0 勝 3 敗		通算		
大分三好ヴァイセアドラー		ポイント : 0		23 第1セット 25		JTサンダーズ広島		
監督コメント	ホームゲーム初戦の開催にあたり、多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。 第一、第二セットはディフェンスで粘ってフィニッシュまでもっていくことができました。明日に向けてブロックとディフェンスの修正をして、よいプレーを見せられるようにチーム一丸となって頑張ります。 ホームでの沢山の声援ありがとうございます。		0		23 第2セット 25		3 監督コメント	
			22 第3セット 25		3		チームとして不安定な部分があったものの、3-0で勝ち切ることが出来たことは、チームとしても非常に大きかった。 本日見つけた課題を修正して、明日へ向けてしっかり準備したい。 ファンの皆さまご声援ありがとうございました。	
			第4セット					
			第5セット					
要約レポート								
大分三好ヴァイセアドラーがJTサンダーズ広島をホームに迎えての一戦。第一セット、序盤大分三好はモゲニの連続得点でリードする。しかし、JT広島も着実に得点を重ね、中盤に江の連続サーブで追いつくと、その後は一進一退の攻防に。最後はJT広島の江が決めて、接戦を制する。第二セット、このセットも接戦となるが、JT広島が競り勝って連取する。第三セット、流れを変えたい大分三好は山田、モゲニを中心に攻めるが、リードを保ったJT広島が最後まで集中を切らさず、3-0のストレートで勝利し、開幕から三連勝とした。								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算		
		ポイント :				ポイント :		
監督コメント					第1セット			
					第2セット			
					第3セット			
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算		
		ポイント :				ポイント :		
監督コメント					第1セット			
					第2セット			
					第3セット			
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算		
		ポイント :				ポイント :		
監督コメント					第1セット			
					第2セット			
					第3セット			
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート								